

カリキュラム・マップの趣旨

カリキュラム・マップは、ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）にむけ作成された教育課程を理解するための図です。学修成果の達成に向けてどのような授業科目が関連し、学年ごとに配置されているのかを示しています。

このカリキュラム・マップを有効的に活用し、主体的に個々の学修到達目標に向かって学習に取り組んでください。

人間生活学科 生活総合コース カリキュラム・マップ(教育課程学位授与方針の可視化)

ディプロマ・ポリシー(DP)学位授与方針

人間生活学科では、別に定める卒業要件を満たした学生に学士(家政学)の学位を授与し、以下の知識、能力、態度が身につけていることを保証する。

DP1 衣・食・住・生活経営・消費・環境など広い生活領域と、衣・食に関する生活技術について、広範な専門的知識と技術を修得し、それらを活用できる。

DP2 基礎知識と専門的知識により、広い視野と総合的判断力をもって、生活をめぐる多様な課題を発見し、分析し、解決する能力を身につけている。

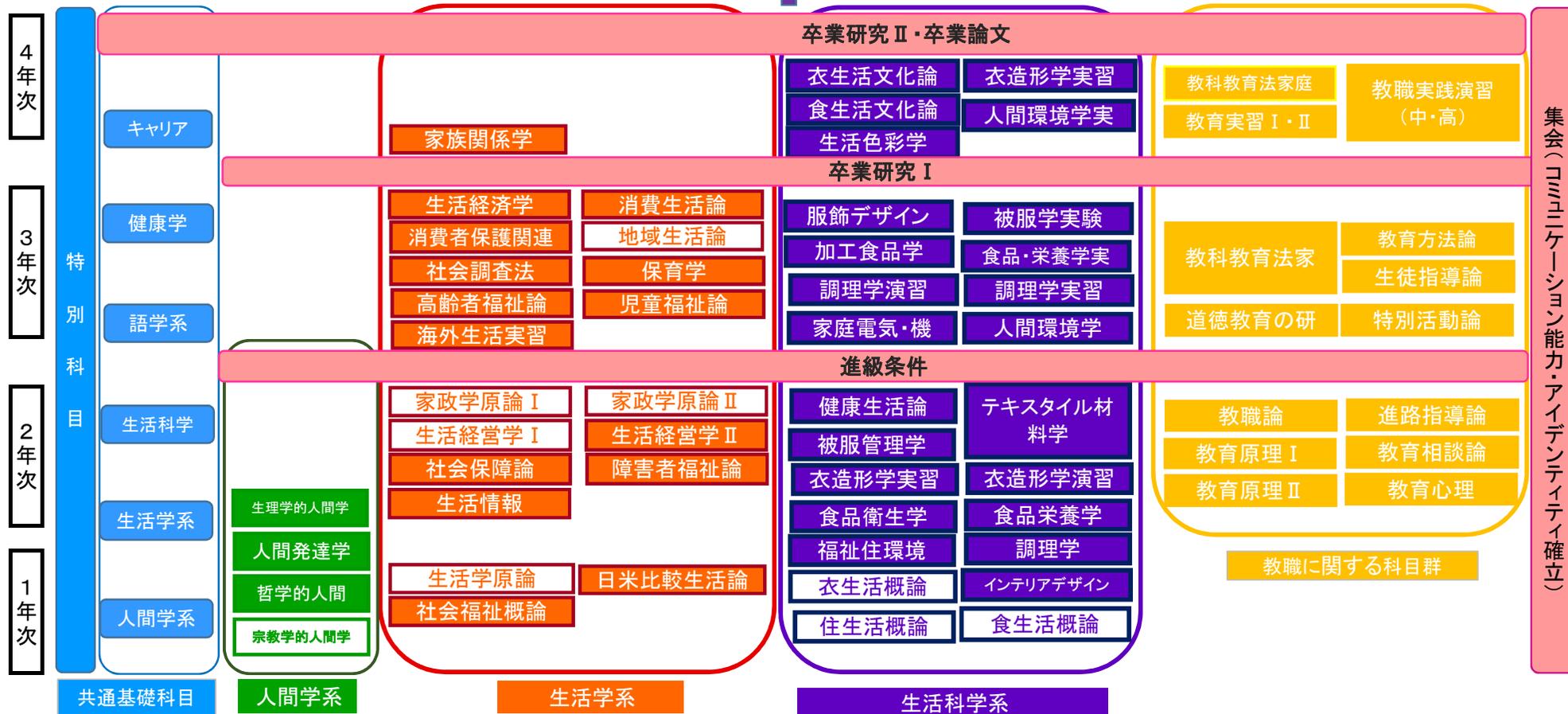
DP3 他者を尊重し、他者との協調関係を築き、社会形成者である市民としての社会的責任を果たすことができる。

DP4 学修、視察・研修、卒業研究などで修得した知識を総合的に活用して、今後のライフスタイルを構想し、その実現方法を探求し、個人や家族、社会の生活の向上に貢献できる。

社会的・職業的自立(高等教育機関目標)

教員(家庭)・社会福祉主事

| | | | |
|-----------|-----------|---------------|---------------------|
| DP1 知識・理解 | DP2 問題解決力 | DP3 倫理観・社会的責任 | DP4 総合的な学習経験・創造的思考力 |
|-----------|-----------|---------------|---------------------|



※白囲み科目は卒業必修科目

人間生活学科 福祉コース カリキュラム・マップ (教育課程学位授与方針の可視化)

ディプロマ・ポリシー(DP)学位授与方針

人間生活学科では、別に定める卒業要件を満たした学生に学士(家政学)の学位を授与し、以下の知識、能力、態度が身についていることを保証する。

DP1 介護福祉および社会福祉の2領域において、介護福祉士あるいは社会福祉士として必要な広範な専門的知識と技術を修得し、それらを応用できる。

DP2 基礎知識と専門的知識により、高齢者や障害者(児)などを取り巻く社会環境を多面的かつ総合的に把握し、介護福祉および社会福祉をめぐる様々な問題に対処できる論理的思考力と問題解決へ導く能力を身につけている。

DP3 他者を援助し、他者と協調できる人格形成を志向し、福祉を通して、社会的責任を果たそうとする態度と倫理観を身につけている。

DP4 実習、地域交流活動、卒業研究などによる総合的経験と横断的思考力を活かして、地域の福祉をめぐる課題を解決する能力を身につけている。

社会的・職業的自立(高等教育機関目標)

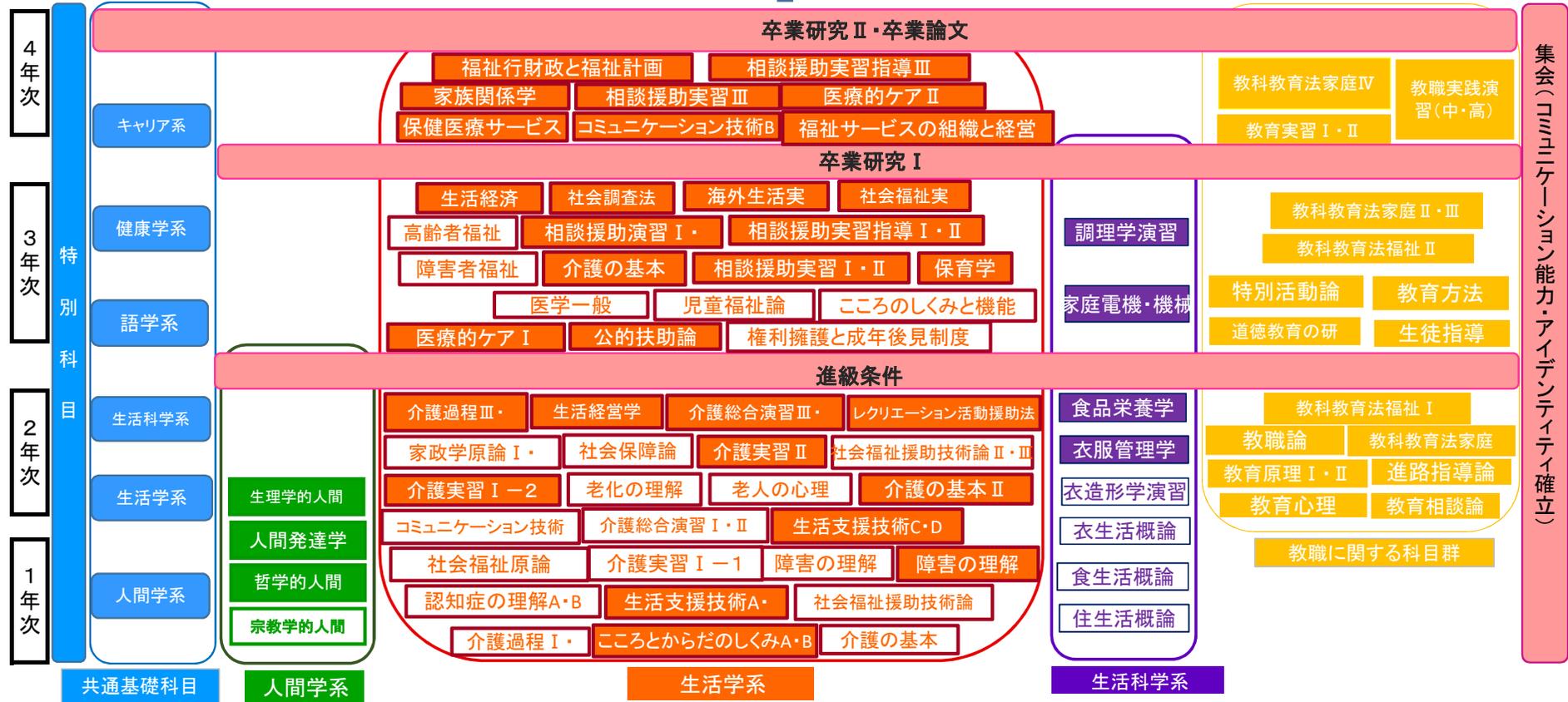
社会福祉士・介護福祉士・教員(家庭、福祉)

DP1 知識・理解

DP2 論理的思考力・問題解決力

DP3 倫理観・社会的責任

DP4 総合的な学習経験・創造的思考力



集会(コミュニケーション能力・アイデンティティ確立)

※白囲み科目は卒業必修科目

人間生活学科 建築デザインコース カリキュラム・マップ(教育課程学位授与方針の可視化)

ディプロマ・ポリシー(DP)学位授与方針

人間生活学科では、別に定める卒業要件を満たした学生に学士(家政学)の学位を授与し、以下の知識、能力、態度が身につけていることを保証する。

DP1 建築分野において、一級建築士(実務2年)および二級建築士、その他の建築関係資格取得者として必要な広範な専門的知識と技術を修得し、それらを活用できる。

DP2 基礎知識と専門的知識により、住居や建築に関する問題を科学的根拠に基づいて論理的に思考し、解決できる。

DP3 自然を尊重し、自然と共生可能な住環境の創造を志向し、人間と社会と自然の永続的存続という社会的責任を果たすことができる。

DP4 建築物の視察、建築現場の視察・研修、卒業研究などによる総合的経験を活かし、地域の建築が抱える課題を広い知性と新たな発想で解決できる能力を身につけている。

社会的・職業的自立(高等教育機関目標)

建築士・商業施設士・インテリア設計士・福祉住環境コーディネーター・教員(家庭・工業)・中学校教諭二種免許(家庭)

DP1 知識・理解

DP2 倫理的思考力・問題解決力

DP3 倫理観・社会的責任

DP4 総合的な学習経験・創造的思考力



※白囲み科目は卒業必修科目

食物栄養学科 カリキュラム・マップ (教育課程学位授与方針の可視化)

ディプロマ・ポリシー (DP) 学位授与方針

本学科所定の単位を修得し、以下の知識、能力等を身に付けた学生に対して卒業を認定し、学士(家政学)の学位を授与する。

DP1 管理栄養士を目指して、十分に研鑽を積んでいる。

DP2 栄養士として必要な知識・技能を有しており、それらを統合して自ら正しい食生活を体現して応用することが身に付いている。

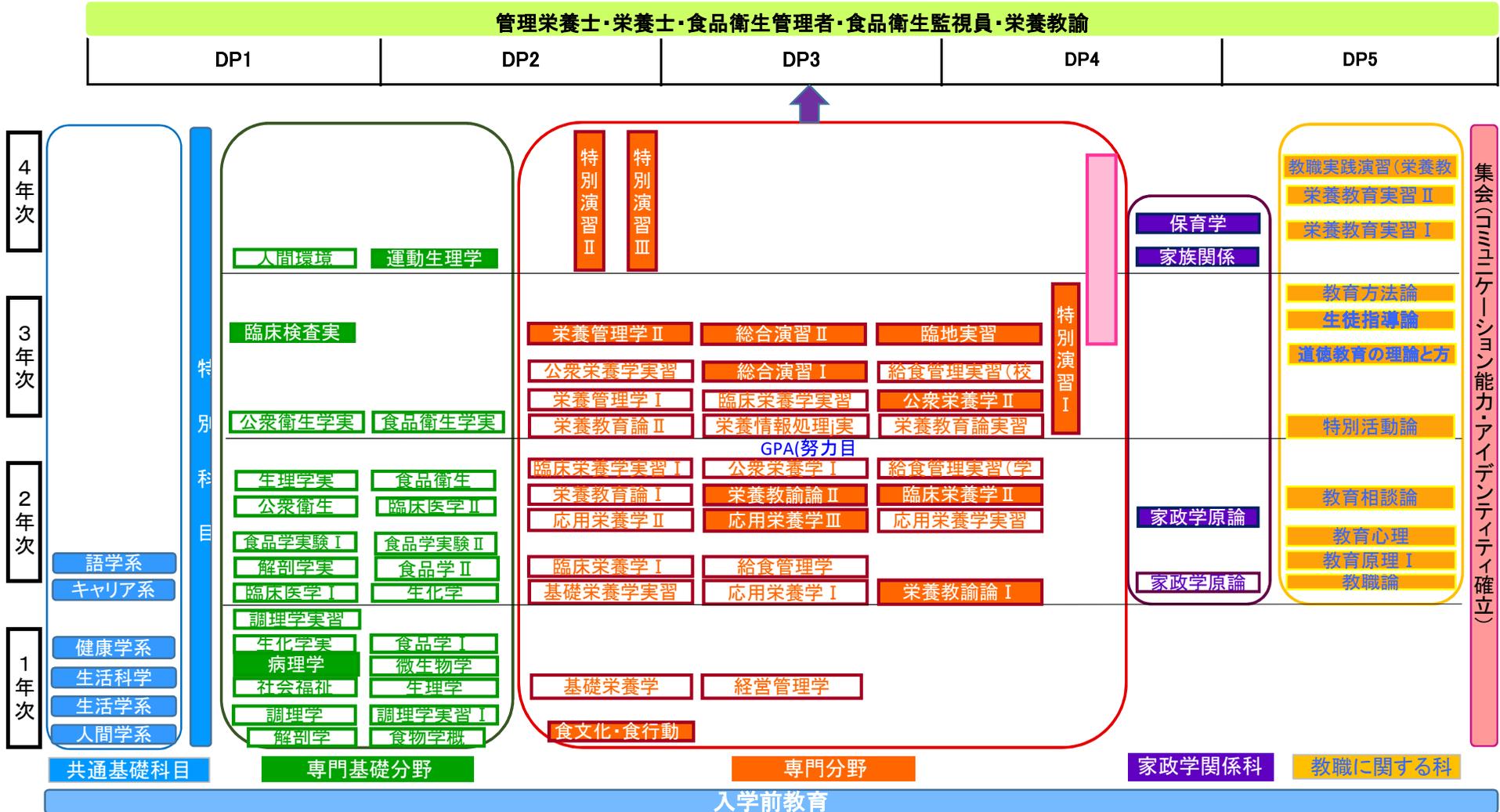
DP3 食、栄養や健康に関わる知識と技術を社会で応用し、人々の生活の向上に貢献できる能力を修得している。

DP4 食と健康の専門的職業人として、人々の健康と生活の向上に寄与するという意識と責任感を持っている。

DP5 食品衛生の専門家(食品衛生管理者・食品衛生監視員、いずれも任用資格)として、食品の製造加工の課程における衛生上の管理と指導ができる。

社会的・職業的自立(高等教育機関目標)

管理栄養士・栄養士・食品衛生管理者・食品衛生監視員・栄養教諭



集会(コミュニケーション能力・アイデンティティ確立)

※白囲み科目は必修科目

福祉情報専攻 カリキュラム・マップ (教育課程学位授与方針の可視化)

ディプロマ・ポリシー (DP) 学位授与方針

建学の精神である「尊敬・責任・自由」をよく理解して、幅広い教養と完成の教育を基本に自己確立を図り、女性の特性を生かして「私がいるとき、私が役立つ」ことができる人間として成長するとともに、本先行の教育の目標に基づくカリキュラムを履修し、卒業に必要な単位数を修得し、下記の能力を備えた学生に卒業を認定し、短期大学士(家政学)の学位を授与する。

DP1 生活の基本である衣・食・住の科学的知識に基づく実践力を活用して、時代のニーズ合った新しい家庭生活を営むために必要な生活技術を身につけている。

DP2 奉仕の心とケアマインドを基本に高齢者・要支援者の特性を理解し、生活支援の技術と知識を修得し、地域社会に貢献できる行動力を有している。

DP3 ビジネス社会で役立つ人間として活躍するために、情報リテラシーとITスキルならびにプレゼンテーションスキル等の汎用的技術を身につけ、即戦力となり得る論理的思考力を有している。

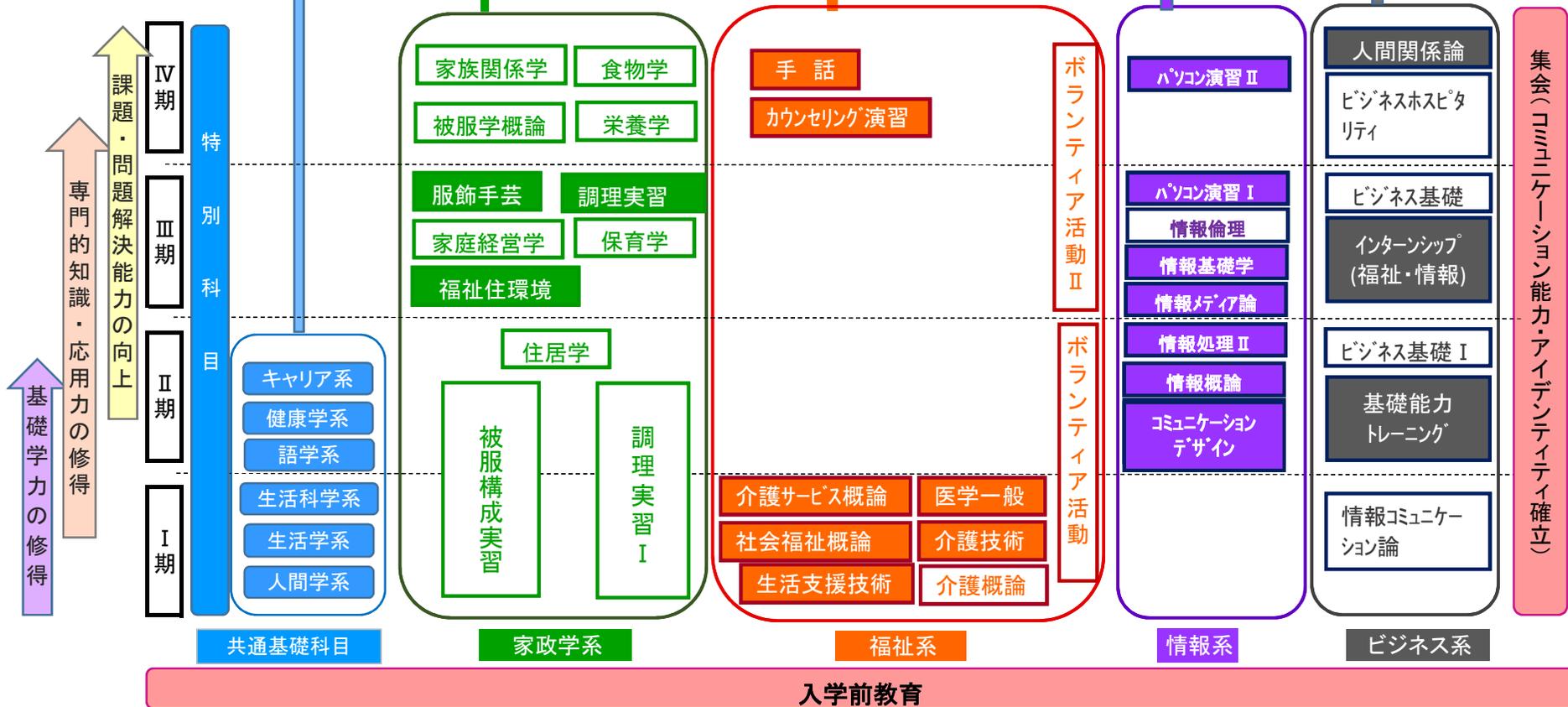
DP4 社会のルールを理解した倫理・道徳観を備えた人間として、ビジネスマナー、ホスピタリティ、礼儀作法ならびに美しい立ち居振る舞いを身につけ、さらに「思いやりの心」と「おもてなしの心」をもって周囲と接することができる自己管理能力を有している。

DP5 幅広い学問を学ぶことによって豊かな創造力と人間性を培い、柔軟性のある論理的思考力と社会の変化を見極める力を身につけ、周囲と円滑に対応できるコミュニケーション力と適切な問題解決力・主体的行動力を有している。

社会的・職業的自立 (高等教育機関目標)

介護職員初任者研修修了・社会福祉主事(任用資格)・情報処理士(N)・中学校教諭二種免許(家庭)

DP1 生活の基本 DP2 福祉のスキルと心 DP3 ビジネススキル DP4 倫理・道徳感 DP5 創造力・人間性



※白囲み科目は、必修科目

食物栄養専攻 カリキュラム・マップ(教育課程学位授与方針の可視化)

ディプロマ・ポリシー(DP)学位授与方針

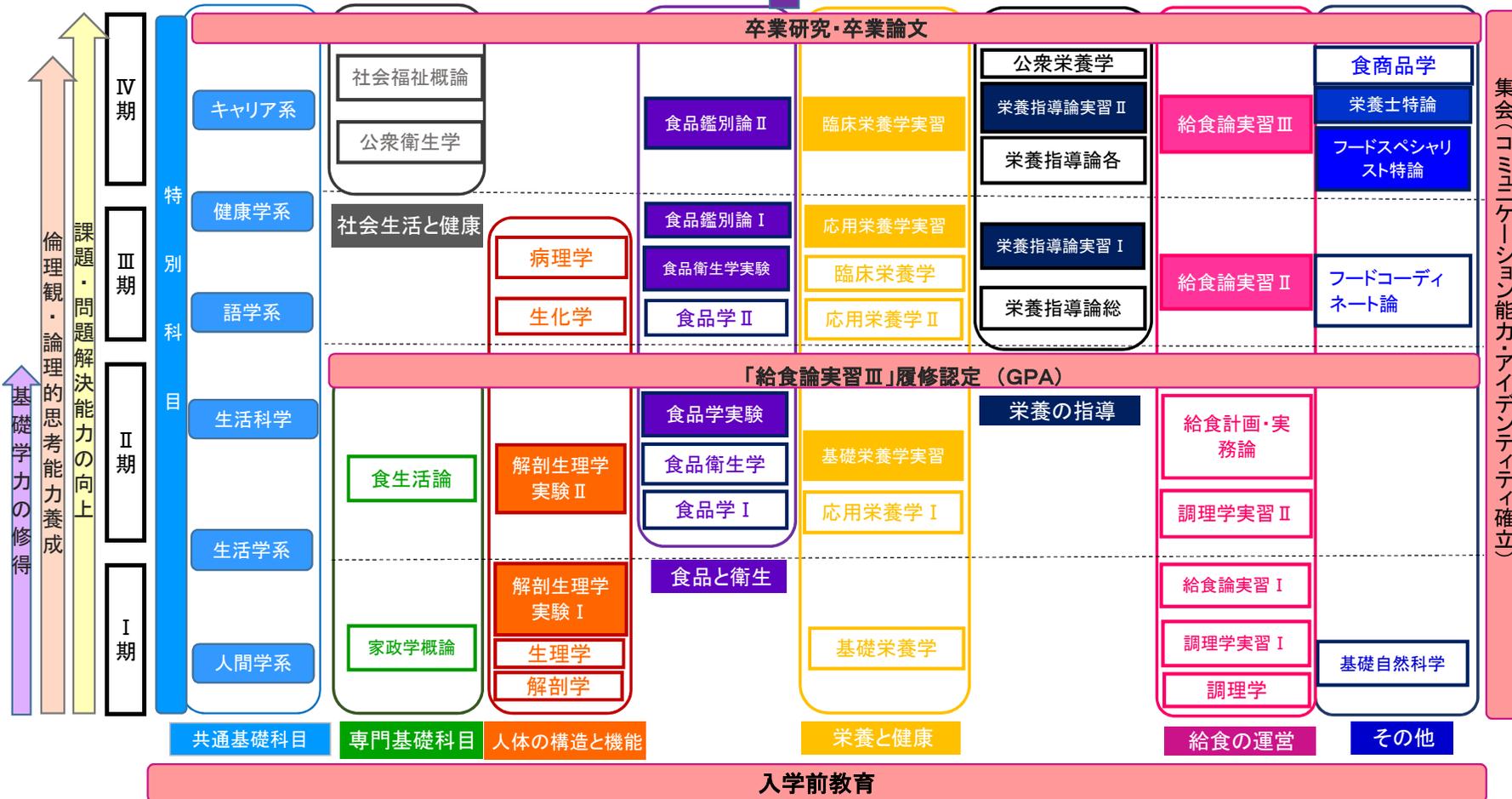
学科の目的に鑑み、本学所定の単位を修得し、次の成果が得られた学生に卒業を認定し、短期大学士(家政学)の学位を授与する。

- DP1 食と健康の関わりについて科学的に理解する能力を修得している。
- DP2 健康的な食生活を実践するための基本的技術が身についている。
- DP3 食と栄養の専門性を発揮して、サービスの精神に基づいて社会に貢献する素養が身についている。
- DP4 論理的思考と倫理観によって、食と栄養に関わる諸問題に対処する能力を修得している。

社会的・職業的自立(高等教育機関目標)

栄養士・フードスペシャリスト

DP1 科学的に理解する能力 DP2 健康的な食生活の実践 DP3 専門性と社会貢献 DP4 論理的思考・倫理観



※白囲み科目は、卒業必修科目

健康栄養学科 カリキュラム・マップ (教育課程学位授与方針の可視化)

社会的・職業的自立 (高等教育機関目標)

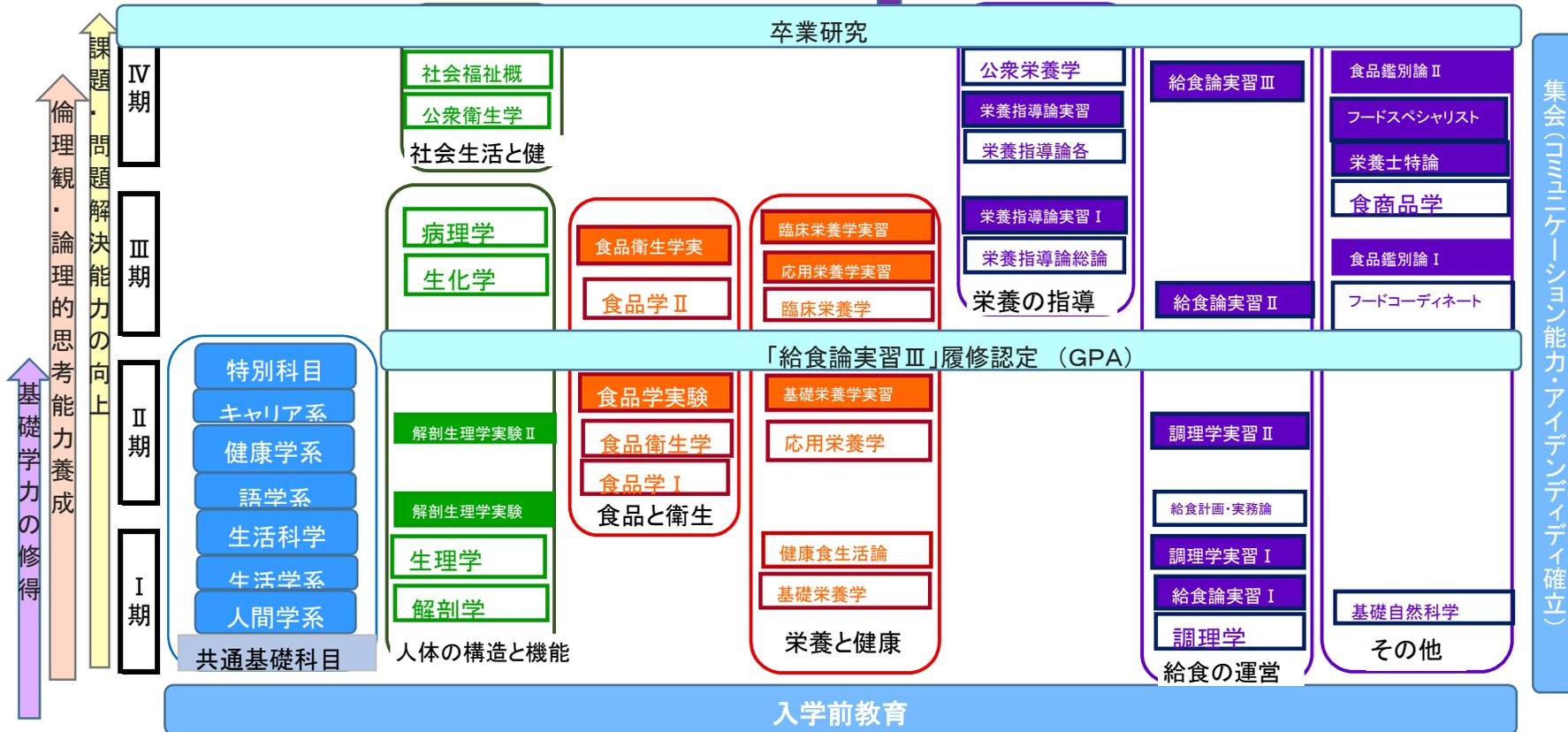
栄養士・フードスペシャリスト

食と健康の関わりについて科学的に理解する能力を修得している

健康的な食生活を実践するための基本的技術が身についている

食と栄養の専門性を発揮して、サービスの精神に基づいて社会に貢献する素養が身についている

論理的思考と倫理観によって、食と栄養に関わる諸問題に対処する能力を修得している



必修科目

選択科

幼児教育学科 カリキュラム・マップ (教育課程学位授与方針の可視化)

ディプロマ・ポリシー(DP)学位授与方針

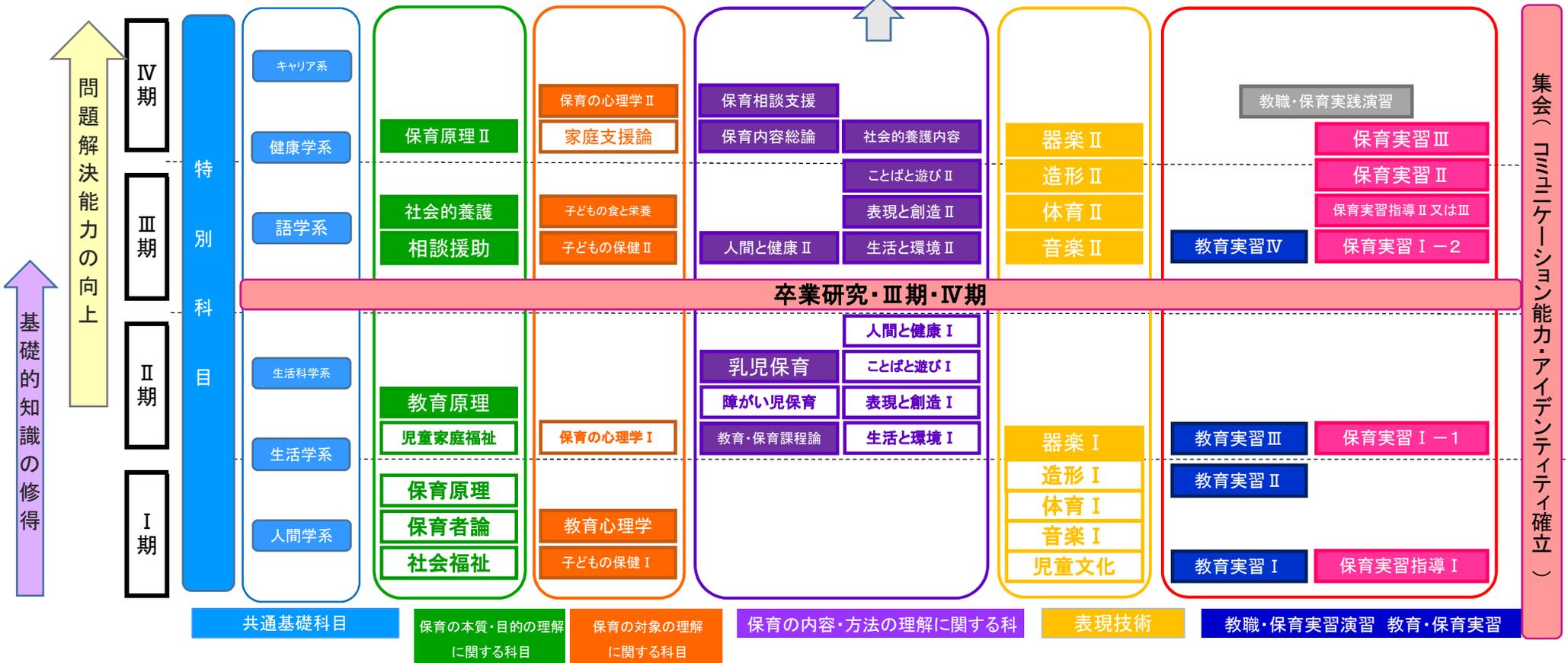
幼児教育学科所定の単位を修得し、以下の知識・能力を身につけた学生に対して卒業を認定し、短期大学士(教育学)の学位を授与する。

- DP1 教育・保育の本質を理解している。
- DP2 保育内容を理解し、保育を総合的に計画し実践できる。
- DP3 子どもの発達(心理的・身体的)を理解し、子どもを支援することができる。
- DP4 保育を実践するための方法や技術を身につけている。
- DP5 感性豊かな表現力とコミュニケーション能力を身につけている。
- DP6 学修した知識や技術を統合し、問題を解決する能力が育っている。
- DP7 幅広い教養と豊かな人間性や規範意識を身につけている。

社会的・職業的自立(高等教育機関目標)

幼稚園教諭二種免許状・保育士資格

| | | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------------|------------|------------|
| DP1 本質の理解 | DP2 計画・実践 | DP3 子ども支援 | DP4 方法・技術 | DP5 コミュニケーション能力 | DP6 問題解決能力 | DP7 教養・人間性 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------------|------------|------------|



プレカレッジ

※白囲み科目は、必修科目

音楽科 カリキュラム・マップ(教育課程学位授与方針の可視化)

ディプロマ・ポリシー(DP)学位授与方針

音楽科所定の単位を修得し、以下の専門的知識・技能等を身につけた学生に対して卒業を認定し、短期大学士(音楽)の学位を授与する。

DP1 幅広い教養や音楽についての知識を習得している。

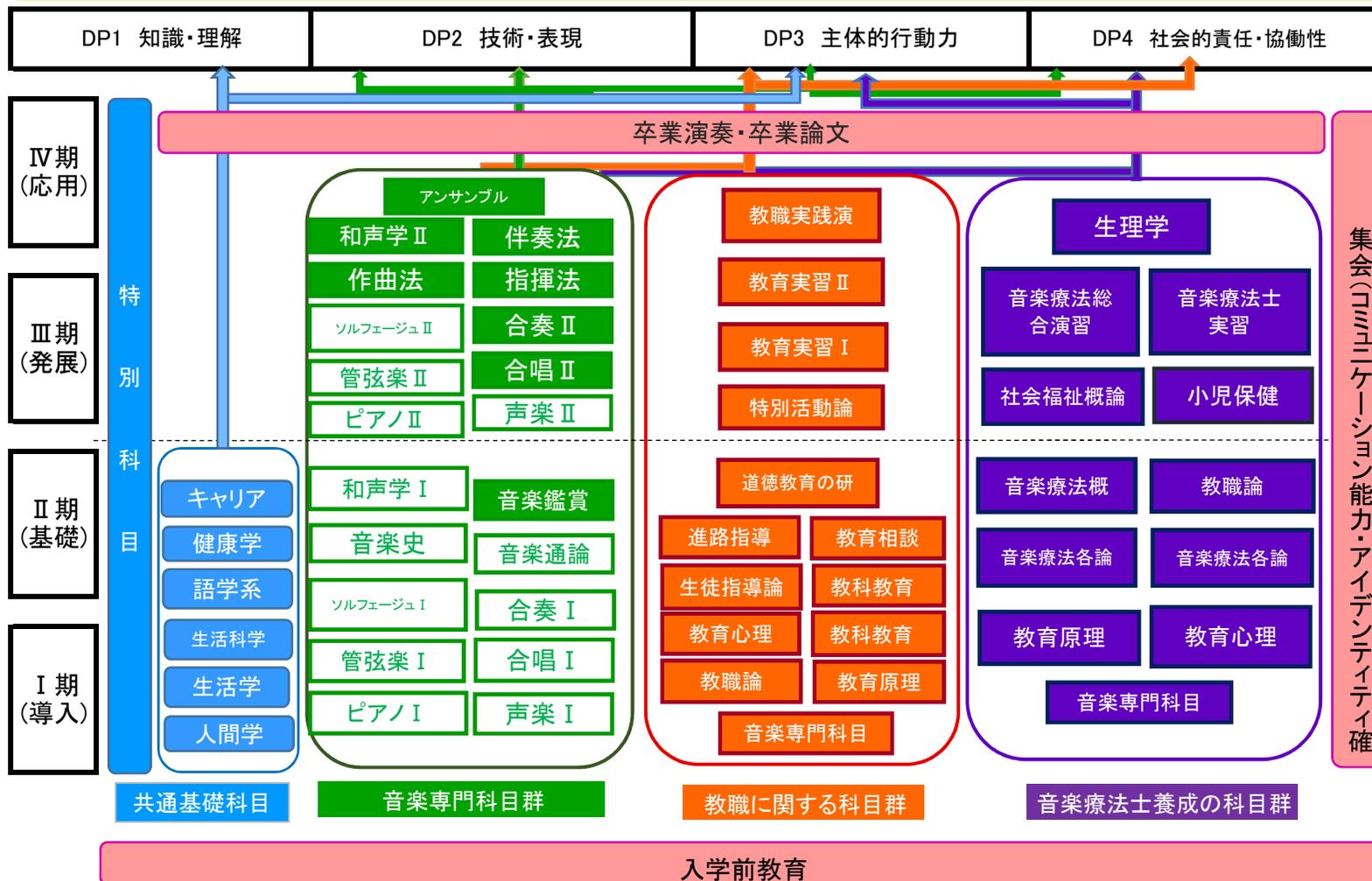
DP2 ピアノ、声楽、管弦楽器の専攻実技の基本的な演奏技術力と表現力を習得している。

DP3 様々な授業や学修体験を通して豊かな人間性と生涯にわたって主体的に学び続ける意欲を身につけている。

DP4 音楽に関する知識や技能を活かして社会に貢献する姿勢が身についている。

社会的・職業的自立(高等教育機関目標)

演奏家・教員(音楽)・音楽療法士



集会(コミュニケーション)能力・アイデンティティ確

※音楽専門科目群 は、必修科目

生活芸術科 カリキュラム・マップ (教育課程学位授与方針の可視化)

ディプロマ・ポリシー (DP) 学位授与方針

建学の精神から導かれる教育目的に従い、美術を中心とした芸術理論、表現技術、芸術に対する関心・態度・意欲、これらの領域で以下の目標を達成していることが認められた学生に卒業を認定し、短期大学士 (美術) の学位を授与する。

- DP1. 生活や状況に応じた、柔軟で応用力のある思考と表現技術を修得している。
- DP2. 専門領域の歴史と世界的動向を理解している。自ら設定したテーマを自分にふさわしい表現方法と発表形式で具体化しようとする努力ができる。
- DP3. 自らの表現意図に沿って、適切な素材とテーマを選択し、状況に応じた柔軟で応用力のある表現技術を獲得している。
- DP4. 自らの見解を自主的に深め、現代の視覚文化にも対応できる姿勢を身につけている。
- DP5. 社会の一員として、他者と協働しながら、社会を改善しようとする態度を身につけている。

社会的・職業的自立 (高等教育機関目標)

中学校教諭二種免許 (美術)

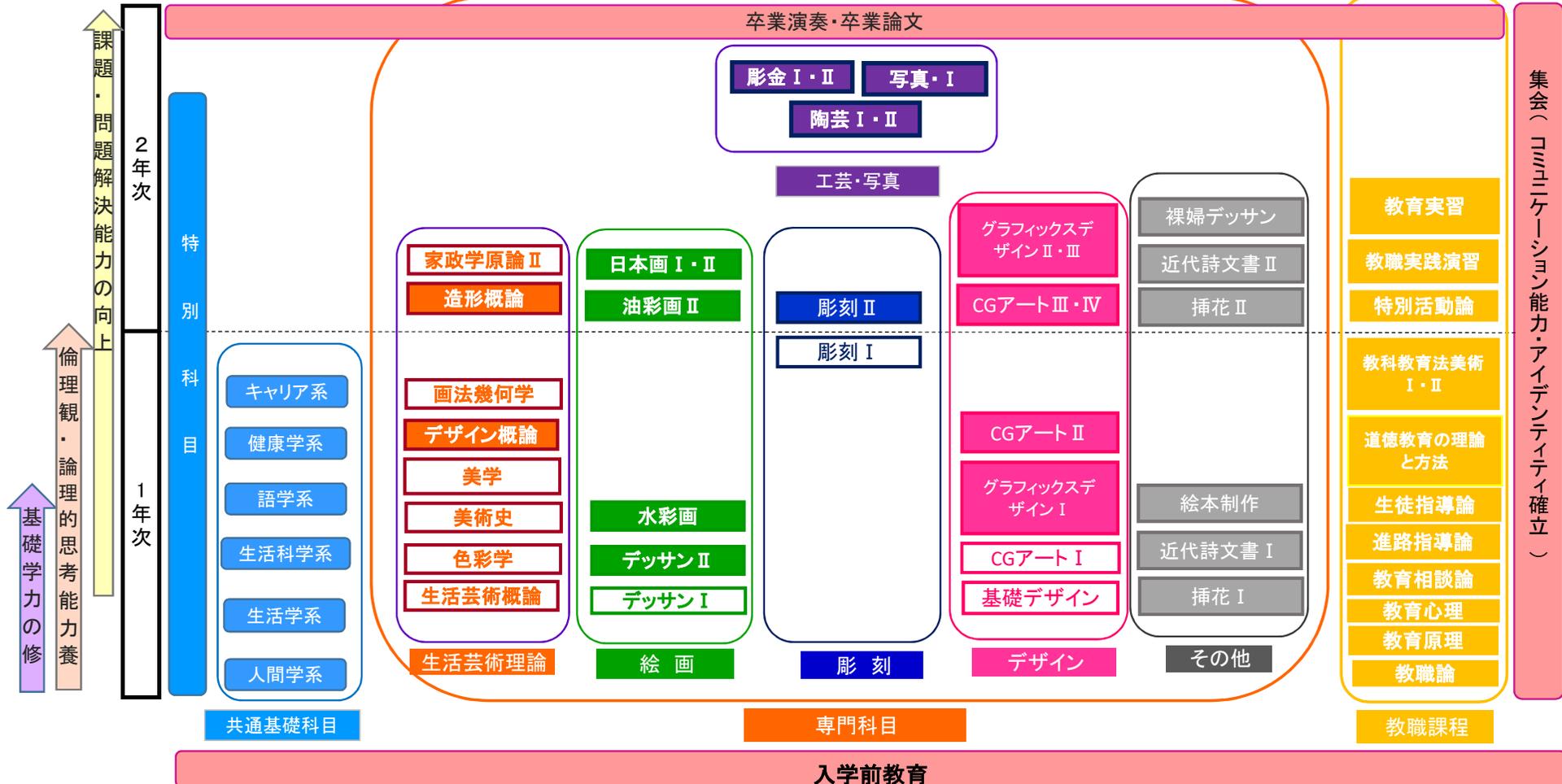
DP1 表現技術

DP2 知識・姿勢

DP3 表現技術

DP4 姿勢・意欲

DP5 姿勢・理念



※白囲み科目は、必修科目

文化学科 カリキュラム・マップ(教育課程学位授与方針の可視化)

ディプロマ・ポリシー(DP)学位授与方針

以下にかかげる知識や資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、短期大学士(文化学)の学位を授与する。

- DP1 基礎科目によって基礎的で総合的な知のあり方を理解している。
- DP2 専門教育において入門的な専門知識を修得している。
- DP3 文化について、専門教育において、深く幅広い知識を修得している。
- DP4 専門教育の実習を通して社会にかかわる力を身につけている。
- DP5 現代社会の多様な課題を自らの力で発見し、それらを専門的知識で分析し、解決する能力がみについている。
- DP6 専門的知識を活用し、論理的に課題を探求し、他者と協調し問題を解決していく主体的行動力が身につけている。

社会的・職業的自立(高等教育機関目標)

社会教育主事・学芸員・司書

| | | | | | |
|--------------|----------------|---------------|--------------|------------|--------------|
| DP1 基礎的知への理解 | DP2 入門的専門知識の修得 | DP3 専門知識の深い理解 | DP4 社会とかかわる力 | DP5 課題解決能力 | DP6 論理的な解決能力 |
|--------------|----------------|---------------|--------------|------------|--------------|



※白囲み科目は、必修科目

地域創成学科 カリキュラム・マップ(教育課程学位授与方針の可視化)

ディプロマポリシー(DP) 学位授与方針

建学の精神に基づく教育目的に従い、以下に掲げる知識や資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に対し短期大学士(地域創成)の学位を授与する。

- DP1 身近な生活圏の歴史や文化を理解し、専門教育の実習を通して地域社会に貢献できる力を身につけている。
- DP2 柔軟で応用力のある創造的思考力を身につけている。
- DP3 地域社会において円滑に対応できるコミュニケーション力を活かしながら、現代社会の多様な課題を自らの力で発見し、それらを分析し解決する能力を身につけている。
- DP4 専門的知識を活用し、論理的に探究し、他者と協調し問題を解決していく主体的行動力を身につけている。

社会的・職業的自立

司書・学芸員補(任用資格)・情報処理士・社会福祉主事(任用資格)

| | | | | | | | | | | | | |
|-------------|------|--------------------------|-------------------------------------|------------------------|-------------|-----------------------------|------------------------------|----------------------|--------------------|-------|--------------------|------------------|
| 二 年 次 | IV期 | 芸術鑑賞講座・教養講 地域創成プロジェクト | | 家庭福祉論 | 介護概論 | 考古学実習 木彫表現 | ヨーロッパ史演習 美術史演習 宗教文化史演習 | 情報サービス演習 情報資源組織演習 | 情報サービス論 図書館基礎特論 | 博物館実習 | 博物館経営論 博物館資料保存論 | 卒業研究 (論文もしくは) |
| | III期 | | インターンシップ | 女性文化史 情報処理Ⅲ | | | 日本史演習 地域社会と衣生活 油彩Ⅱ | | 図書館情報技術論 | | 博物館情報・メディア論 | |
| 一 年 次 | II期 | 芸術鑑賞講座・教養講 地域創成ゼミナール | キャリアデザインⅡ | デザイン論 情報処理Ⅱ 情報概論 | 油彩Ⅰ 塑造表現 | 考古学 美術史 宗教文化史 | | 図書館サービス概論 | 博物館資料論 | | | |
| | I期 | | 情報処理Ⅰ 総合英語コミュニケーション キャリアデザインⅠ | 図書館概論 博物館概論 | | 日本文化史 ヨーロッパ文化史 社会福祉概論 | | 児童サービス論 | | | | |
| | | | 地域創成学科 生活基礎科目 | 地域創成学科 共通専門科目 | 地域創成学基礎 | 地域創成学探究 | 図書館学関係 | 博物館学関係 | 卒業研究 | | | |
| 基礎科目 | | | | 専門科目 | | | | | | | | |

入学前教育

※白囲み科目は必修科目

専攻科 カリキュラム・マップ(教育課程学位授与方針の可視化)

ディプロマ・ポリシー(DP)学位授与方針

以下にかかげる知識や資質を身につけ、所定の単位を修得した学生に対して、本学が評価を行い、「大学評価・学位授与機構」が審査し、学士(文学)の学位を授与する。

DP1 専門的科目において、専門的知識を修得している。

DP2 専門的科目において、研究能力が身についている。

DP3 研究課題を適切な歴史学のテーマに設定する知識が身についている。

DP4 研究課題の成果である論文を論理的、創造的にまとめる力が身についている。

DP5 歴史学を専攻する学士(文学)の学位を取得することで、社会教育の充実発展に寄与できる能力が身についている。

社会的・職業的自立(高等教育機関目標)

学士(文学)

DP1 専門的知識

DP2 研究能力

DP3 課題探求能力

DP4 論理的・創造的

DP5 社会的責任

文化史総合演習(学習総まとめ科目)

考古学演習※

※1科目4単位以上必修

中国文化史演習※

西洋文化史演習※

日本宗教史演習※

日本文化史演習※

西洋美術史演習※

日本生活史演習※

日本宗教の歴史と文

日本古代の歴史と文化

西洋美学史

日本人の生活史

アメリカの歴史と文化

中国の歴史と文化

ドイツの歴史と文化

日本の考古学

日本近代の歴史と文化

日本女性史

考古学特論

フランスの歴史と文化

文化史概論

日本の歴史と文化

日本近世の歴史と文化

専門的科目

※2科目以上選択

文化人類学※

家族関係学※

生活経済学※

住生活概論※

食生活概論※

衣生活文化論※

日米比較生活論※

哲学的人間論※

専門関連科目

※2科目以上選

総合英語コミュニケーション I

生活情報

社会調査法

情報処理演習

その他の科目

※白囲み科目は必修科目

二年

一年